会員からの招待大学行政管理学会

他大職員と繋がる

主に施設管理を担当

財政面などへの影響をで なっている。 024年に5年を迎える ンパスに総合移転し、 本学は現在の沼田キャ 施設の更新が課題と 大学事業や 2

且つ未来志向のキャンパきる限り最小限に留め、 建替計画の見直しに注力 スを描くべく、 当者として現在校舎等 施設管理

ある!? 振り返ってみる。大学職学職員を取り巻く環境を 一人の努力では限界が し話は変わるが、大

きた Mをどのように活用して に進めるために、JUA AM入会のきっか (第4回)において、 審議会の大学教育部会

(3)

入職時は、

財務課財

を得ることができた。更って非常に有効な手段

人事"

"教育"、

の先も一緒に何かをやり

のについて述べる。

ち解けていき、気がつけ顔を合わせるにつれて打

や大学改革研究会の活動

ここからは、JUAM

る。

ある。

学校法人会計をは

を通して私が得られたも

務における情報交換

々の業務で得ていたが

じめとした基礎知識は日

関わる部分に直接触れる とりやすく、その根幹に

貴重な機会であると捉え

できたのはとても喜ばし

が多く、これまでの活動 ラインで実施されること ス対応から研究会もオン

同世代を見つけることが 加することで、全国から

研究会参加当初は交わさ

ている。

本院に関することで言

で学びを得ることはもちいことであった。研究会

むしろ好意的に捉えていと異なっていたが、私は

と考えている。

異動してようやく1

な研鑽の場を与えられた 校法人の職員として新た る部署となり、むしろ学 校法人の運営に深く関わ た違ったアプローチで学

る大学の未来を創る」

基調講演、

무

クショ

分科会、研究·

事

教育の今を知り、激変す

このように、

たり、直接会って話!

いていたものの、何度も

予算 管 務

しての仕事を少しでも前

している。) には20

本稿では、大学職員と研究会に所属している。 会(以下「J U し、中国・四国地区 、下「J U A 8年に

いる。また、JUAMに している活動だと感じて 織」ということを具現化

は?」という先の疑問に 入会すれば「大学職員と

本学の大学職員となっ 経て、2016年4月に 来ビジョンを共 扱う営業担当として、 の実現に向け金融の力で 職した。 7年間の勤務を 当にシビアな世界を経験 った。しかし、元々教、やりがいのある仕事 地元の金融機関に就 同時に、顧客の将 ができること 金融商品を そ. 本 た

在は財務課管財係に所属 を歩むこととなった。現 を歩むこととなった。現 を歩むこととなった。現

鑽を深めるための専門組 『職員』相互の啓発と研 る。 うか。 このことは、 JU AMの設立趣旨にもある 「全国の大学横断的な

うロー 言われた。「会社内で行の支店長にこんなことを 前職の新人時代、当時オリジナルを創り出す ルプレイングも大

切だが、 まで、 商品説明、身振り手 一緒に顧客の所にいき、 真似できるようにしなさ 真似ができるように 先輩の型を完璧に とにかく先輩と 振り

だえた。 とのようなこと となっ に入会することとなっ 急速に変化している。2 員を取り巻く環境は近年 ができるのではないかと 一番効率的にアプローチ えつつ、

ている。 教育学を専攻し、卒業後 大学では4年間

の大学で行った活動を他 こととなった。 参加して 教えていただき、非会員 司からJUAMの存在を おいるとき、当時の上 な職業なの?。という疑 教えたことがあっただろ 大学の方に惜し気もなく として研究会に参加する 他社に自社のノウハウを 発表していたことであ 一番驚いたことは、自ら 前職にいた際、競合 として、 ために、 大きく影響を及ぼす要因 学の北 育行政の変化、 からの大学の経営環境に 川浩教授は、これ 22年9月3日に ④働き方

切るの 多様化していると解説さ 況である。 れた。この大きな波を、 職員の努力だけで乗り 大学の努力、 は到底不可能な状 ましてや

0年、

を作っていきなさい」 自分の新しい型 ポイントを押さ

と。これは当時の私にと

単に説明する。私は一て、私の経歴につい る広島修道大学に勤務し 校法人修道学園が設置す 。私は、学について簡 め、私が大学職員こすりの部署ではなかったた みに寄り添いサポ て抱いていた「学生の悩

己紹介

も兼

務を担当した。学生対応理や補助金申請などの業

方」について検討され、「大学事務職員等の在り

利用して仕事をすることに現在でも、この手段を

「財務研究グループ」な

行う機会がある。

1つの活用方法だと思

JUAMを通した気づきの機会

学生対応

20

7年4

には SD

が、「真

個人的な印象だ

恥ずかしい

された改正後の大学設置

えている方が多いように こと・ダメなこと」と捉

岩手職員としてのJUAMへの関わり

確かに全く同じ手法で

関西福祉科学大学

022年10

月1日に施行

が義務化された。更に2

広島修道大学

健志郎

同士の相互理解を深めることができる「大学改革 は必要不可欠な学校法人 会計にかかる専門的な内 会計にかかる専門的な内 会計にかかる専門的な内 会計にかかる専門的な内 できる

く異なる様々な部署が存 た。そのようなこともああるイメージをもってい な子会社(部署)が複数 大学には業務が大き 大きな 小さ からも、 協働にかかる内容が明文 一体的に規定され、教職教員と事務職員の関係が る。 めには必須であると言え向上は、大学の発展のた 化された。これらのこと 基準では、第七条(教育 開催されたJUAM第26 研究組織等)において、 大学職員の能力 が、そこから進化させた ことは決して恥ずかしい ことではない ビジネスとして成立させ オリジナルで仕事をする 感じている。

先述した

年4月に関西福祉

私は大学卒業後、20はじめに

活動を楽しみにしていが重要」と伺っていたこ

て

大学改革研究会につい

たい」と思い始め、

継続

する中で、

「他大学はど

しているか」を調

べる

系的に学校法人会計の構が多いが、研究会では体

ら建設、移転に係る諸手

いて、

用地の取得か

続きというこれまで経験

化について話し合う等、

ある。普段の業務を遂行 繋がることができるよ

点で 員と

作成について考えることがやっとのことであっ

院大学五橋キャンパス)た新キャンパス(東北学

いっても大きなメリ

只目に述べる、

何と

学校法人東北学院

杉浦

としては、他大学職1

的に活動するようになっ

ではないだろうか。 場面は少なからずあるの

す)に入職し、現在4年

「新人・若手職員懇親

研究会は、

私が入会した大学改革

学大学(以下、

本学と記

基調講演をされた成蹊大回定期総会・研究集会で ①急激な少子化 て、 だと考えている。 を創り出す。これを手助 ことが今の私には有効的 けする1つのツー を生み出し、新たな価値 研究会について 真似からオリジナル JUAMを活用する ルとし

学改革研究会の関西支部7月に入会し、現在は大

のうちの1つである「大た頃、JUAMの研究会

入職1年目の2020年 目である。JUAMには

入会してしばらく経っ

職員間の相互支援―支え

合いから生まれる次世

Googleの共有ドライブ る。大学改革研究会では

ジ

ている。

っかけは、

JUAMに参加したき

しており、これま

り、活動テーマは「大学ーマ別研究会の1つであ

中で印象に残っているの

J U A M の 研究会 メ

-である。他大学の情報

ループでの活動に参加し 年より、主に財務研究グ M会員としては201 たところである。 JUA

た。

また、

研究会のテーマ

をご紹介いただき、他大研究会参加者の担当部署

いことから、

教員との接

もちろんのこと、時には の事例を洗い出すことは

1 5

するには絶好の場であっており、日常業務を俯瞰でおり、日常業務を俯瞰

けたことがあった。過去のない移転事業への実務

何より貴重な機会だっることが、私にとってはいわゆる「雑談」ができ

た。特に私自身、教学部

門での職務経験がまだな

企画の運営方法であ

様々な企画に携わった

して

思い浮かべるのは

際私が真っ先に頼る先

ع

赺

への参加

の副支部長を拝命して、

学改革研究会」が主催の

「新人·若手職員懇親

事のテーマを取り上

若手・中堅職員自身が時 の大学運営―」である。

での企画運営に関するデ

載されているとは限らな が、求めている情報 等を参照することが多い は大学の情報公開ペー 収集については基本的に

研究集会が開催され、そ本院で第18回定期総会・

にあがった。直近で言え

ている事象が議論の内容 には時にトレンドとなっ

学のノウハウを伺うとい

等の学務職域について、し方やカリキュラム編成

った体験をすることが出

常に新鮮な気持ちで拝聴

してい

他方、

ば新型コロナウイルス感

。そういったときに

る。

本稿では若手職員の

会」へ参加することとな

て、ワー

クショップや勉

った。毎年、春~夏頃に

強会を企画運営すること

営のノウハウが蓄積され で画に携わるよのの、 で画に携わるものの、 で画に携わるものの。

接連絡を取って教えて

直

を担当したことである。

業料減免や奨学費の給付染症の流行について、授

の際に受付等の応援業務

本院では、

新たにJUA

はもちろん、

オンライン

帰り、

開学に際して大い

ス整備対応は本院に持ち 様々な視点でのキャンパ 来た。ご教示いただいた

切っているため、地区のが存在する。エリアで区が存在する。エリアで区 会について紹介したい ら、所属している会員かを固定していないことか らの要望があれば、その 特性から生じる課題を共 が、北海道から九州・沖 しているJUAMの研究 ここからは、私が参加 まず地区別研究会だ い。またテーマ の中で得られたものにつ 立場から、これまでのJ っかけであった。 いて述べたい。 JUAMへの入会は、 JUAMの存在を知る 本学では特に若手職員

開催されており、例年は対面での開催であっためオンラインでの開催であった

UAMへの参画のきっかUAMへの参画のきっか

ているため、常に「より

グループLINE上で複が必要な場合は研究会の

費の負担及び旅費補助を

M会員となることで年会

学習のインフラ整備や感

に活かされたと感じてい

染予防の対応等、

各学校

る。

ただいたり、多くの事例

営できる形になっていよい企画」を目指して運

る。企画立案の際に使用

る。 きるのも特徴の1つであ 究会を開催することがで要望に沿ったテーマで研 等を学内へフィードバッ 一、に対してJUAMへの参加 で、活動の中で得た情報 や、活動の中で得た情報 会費の助成を受けて、 クすることなどを条件 る。 に、学内で数名程度、年

Ŋ

全国各地の大学職員

新 卒 1

・年目の自分が参画

の中で困った際にフォロとができた。また、運営

いている。

-には日々助けてい

動をしており、研究会が人が本制度を利用して活

何の知識も持たない

が参加していたのが印

った。懇親会はオンライの職員との交流の場とな

前の研究会であったた「大学改革」という名

がなくても、自分が中心

ともあり、研究会メソ

ンた

財務部財務課でも、複数きた。私が所属していた

究会で研鑽を積み重ねて

財務部財務課でも、

年より施行された改正学をより施行された改正学が法人会計基準の基礎的がまに遭った際の対応について研究会内

や研修等、

新人が担当す

献することである。

学業界の改革・発展に貢

ンシート」「ミーティン する独自の「企画デザイ

ト」等の雛形のお

いただいたことで学内ののような形で情報提供を

こともあった。実際に の回答を依頼したりす 数の大学へアンケー

にそ

が本制度を利用して各研

これまでには、2015

た際、新卒採用の同期が り返りたい。私が奉職し

おらず社会人としてのマ

ナーに始まり、学内行事

る

設期より現在まで約20人制度があり、JUAM創 3年間行う「校費会員」

は記憶に新しい。他にも意見交換が行われたこと

った視点でJUAMを振ここからは業務とは違

法人の取り組みについて

研修の機会として

ン開催だったことも

め、入職以来初の他大学

時は、学外への研修等も

鑚を促すことにより、大 関を提供し、自己研

けの場を提供し、

した2020年7月当

は、今年5月に「204 かけとなった。 ことは何かを考えるきっ トに大学職員が今できる コロナ禍での変化をヒン る大きな課題に対して、 連携・統合等これから迫 た。少子化や私立大学の テーマに研究会を開催 を続けていますか?」を 今年5月に「204 あなたは大学職員 り、JUAMの存在は学一行われていることもあ 職員全体への情報共有 学内グループウェア上で 、JUAMの存在は学われていることもあ

問を抱いていた。 少しかけ離れていた。ま 親会社(大学)に、 在することから、

り、、大学職員ってどん の進行、②Society 5.0 for SDGs、③教 改革を挙げられた。社会 の大きな変化に対応する t 社会の変化に対応するに

べき役割や環境も急速に 大学職員が担う

私が所属している「中 の企画については随時、

タートし、現在抱えてい的であった。グループに

ても歓迎され、安堵した

少戸惑いつつも、若手職

存在も大きかった。

期総会・研究集会」

う全国各地からJU

して良いのだろうかと多

くばらんに話すことがで

営の経験

研究会へ入会して間も

なく

月に1度の定例会

楽しく、他のコミュニテ 遂げるというのがとても

自身も研究会メンバ

クショップの運

ス)にて開催予定で、

私

8月を除く毎月第3

(東京あだちキャ

財務研究グル・ 研究会での活動

- プは4

結することが少なくない

とはプレッシャーも多

いく同期が不在であるこ と同じペースで成長して

談」を通じて自分自身の を得たのは、まさに「雑

その学校法人の経営に直計上、特筆すべき事象は

ィではなかなか味わえな

る悩みなども含めてざっ

覚えがある。

研究会における企画運

目的を持って意見を出し

ある。今年度は文教大学 祭りのようなイベント 会員が集まる、ある意味

った。

とから参加することとな

ないに関わらず、財務会計算書類に現れる・現れ

とができていたが、自分分の業務を広げていくこ

の稀有さを振り返る機会いであったが、その経験

周りの協力を得ながら自 先輩からの指導により、

て常に感じているのは、もあった。研究会におい

での情報交換を行うこと

う必要があった。上司や るものはすべて1人で担

タイミングが重なったこ の新規参加者を募集する ことと、校費会員制度へ 業務内容と身近であった

1つの企画をやり

バーにも関わらず、同じ所属大学が異なるメン

次にテーマ別研究会だ 研究 署の先輩職員がJUAM のだった。丁度、同じ部 Mへの入会が勧められた 運営企画室 (現:総務 そういった状況下で私は 内で広く知られている。 政策の動向や他大学の 会員であったことや、 「この部署では特に文教 い配属され、 ち、入会を決めた。 親会への参加を通して大 に思っていたのだが、 ることができれば」程度 して他大学の方々と繋が 思ったのを覚えている。 とができ、とても心強く 先輩職員とも交流すると な部署で仕事をしている りながらも私と同じよう きた。また、他大学であ 元々は「懇親会に参加

り合いがおらず不安を抱た。最初は研究会内に知運営にお誘いいただい

活動の中で得られたも

える方も多くいるため、

とても楽しみにし

ベントを通して久々に 営を行う予定である。

師をお呼びしてテーマにあり、時には外部より講

が、研究会では幅広い ると機密事項ではある

知

安になることもあった。

沿ったお話を伺うことも

な意見の開陳や議論が起 見が集まることから有益

定期総会・研究集会に参

年間は新型コロナウイル

2020年度からの3 地方での関わり方

そんな中、各研究会や

財務会計に関することで

ている。内容はもちろん

捉えていることは一見す

の戦略や重視すべき点と ことである。各学校法人

ア形成が順調なのか、特

場外での、同期、が、自とかきっかけであり、職

とがきっかけであり、職取り組みを内省できたこ

職員としてのキャリ

に後輩ができる世代に差

分なりのベンチマー

クと

業務の変わりぶりに最初 が、まさに転職のような

は戸惑うことも多かっ

しかし、会計とはま

して励みとなっている。

木曜日に研究会を開催.

れていたイベントの企画

いのではないかと感じて

いる。

への参加や、当時企画さ

催している。全国横断的とが定期的に研究会を開 である。 えることができる研究会 課題に的を絞ることで、 より深掘りして物事を考 に会員が集まり、共通の 法人会計などが学べる研た財務係時代には、学校

1「課題解決へのヒント 私はテーマ別研究会に JUAMの活用術その して、日々の仕事に活かに一番近い研究会に参加 加していた。自分の課題究会を意識的に探して参

(施設管理や防火防災 (施設管理や防火防災 属している管財係の仕事 会には参加するようにしや関心のある内容の研究 分の仕事に関係する内容所属はしていないが、自 災 「研究会への参加=課題すことが大切だと考えて ある。

党を包括的に学び、職員 の研究会がある。大学運 の研究会がある。大学運

のお仕事活用術

大学の職員と意見交換を ループセッション等で他 2「仲間を作ろう!」 解決へのヒント探し」 研究会に参加するとグ JUAMの活用術その で 会に参加するというのもした時に、意図的に研究

力されている方と意見交もしれないが、身近で努 ている。 とも、 ベーションにも良い影響 換を行うと、自身のモチ 性が高くなると私は考え 事例にたどり着ける可能 多ければ、成功している ティでは解決できないこ また、個人的な意見か 相談できる仲間が

い悩んだ時、意欲が低下があると感じている。思

は、意外に他大学でも同 じ課題を抱えていること 自大学で悩んでいる課題 るまでは分からない

している研究会に参加し

パグループ」が開催の(減災)教育・対

の場所として捉えてき にJUAMをインプ

かけとなれればと思う

も込めてひとつ記載 最後にこれからの おわりに

知識や繋がりが成果とした。いつになるか分から

来るようになった時、自としてJUAMを活用し、その先に、誰かのオし、その先に、誰かのオ

小さなコミュニ 円滑に進めるため、 はこれまで自らの仕事をい。先述したように、私 に自分自身の成長のな 先述したように

分もアウトプットの場所来るようになった時、自て仕事に活かすことが出

ている。 ティは、JUAMぐらいする大学職員のコミュニ

や、業務上で得たノウハ定の研修のリハーサル

ている。

ウの共有など、

多種多様

活用

2点目は、業界全 を張れる点である。

会担当者が学内で行う予学業界で話題になってい 部では、 に勉強会を行っている。

ではないだろうかと思っ

他部署に対するアンテナ 業界全体や

大学改革研究会関西支 毎月の定例会後

勉強会の内容としては大

ても、

(イ) 業界全体や他部

報は素通りしてしまうこ

である。

は目を向けることができるなす中で自分の所属部 私は日頃、担当業務を 他部署に関する情

向についての情報共有 勉強会では文教政策の動 とが多い。しかし、この げたりすることが多々あ 強会の話題として取り上 自身で試していたり、勉 手に入れると、どういっ である。研究会メン は新しいツー

| 私にとっては視野を広げ | のツールについては人数 | 体験を踏まえて述べてき見交換等ができるため、 | ルや、共同編集がメイン | 魅力や特徴について、実や、他大学での業務の意 | る。オンライン会議ツー | ここまで、JUAMの ルの情報を することもある。 おわりに

> られるかもしれない。 ものが、JUAMでは得

ることや、

数字的根拠に

で、事業の概略を推し量

られる貴重な機会となっ ルの活用を進められる点 3点目は、新しいツ (ウ) 新しいツールの いことも多いが、勉強会ルの機能を十分に試せないと当該ツー 討に最適な場となってい が参加しているため、検には毎回ある程度の人数

場合には、適宜情報共有 活用できそうだと思った る。 勉強会で話題に上がっ

業務遂行では得られない いかがだろうか。 日頃の 画があれば、まずは参加 して他大学の職員と1 る。もし興味を持てる企

ュニティへの参加はハーないと、このようなコミた。何らかのきっかけが い。しかしJUAMの企ドルが高いかもしれな 加できるものが多くあ 実は非会員でも参 が経ち、これまでの業務

的な感覚として会計的視少なくない。もっと日常 の部署ではあまり話題に ギャップを感じることも 上がらないこともあり、 会計処理についても、 必要性を改めて実感した 計の考え方を持つことの 点を職員に備えること 日常会話のようであった ように思う。 を振り返ると、 前部署では やはり

僭越ながら、 す で学校法人会計の講師を ら、これらを同僚たち 会を与えられたこと 研究会中堅·若手勉強会 より還元していくと共 1度、それぞれ発表の ループで1度、 財務研究グ 東北地区

機

後の研究会の参加を通 て考えていきたい とは」という部分を、 い学校法人会計の基礎 また、現在の業務に関 「職員が取り組みや \Rightarrow

AMにおいてまだあま パスの完成記念とし

流れや準備・対応につ ありながらも、 人において特有の部分が した経験から、各学校は ついては、前述した新キ への対応である。前者に 校法人による各設置学校 連することでいえば、 全体的 法 な

ヤン があるように考えてい る。また後者については ては共通の部分も多く て開催した献堂式を担当 "大学"行政管理学会で

総会·研究集会

を習得し、研究会によっ

てその研鑽を行っていた

示されるたびにその知識 までは新しい会計処理が

教大学東京あだちキャン27回定期総会・研究集会 パスとオンラインで開催 大学行政管理学会の第

|えば、本年4月に開学し | ろん、現在の業務への真 話、時には業務の話を離始まり、失敗談や苦労 摯な考えや取り組みから れてライフステージの変 千裕 地理的制約が解消され、で、東北地方においても 各地区・テーマ別研究会 勢とはいえ研究会がオン ライン主流となったこと ぶことが出来ない部分が 間の校費会員制度を満了 されることが多く、3年 会は関東・関西圏で開催 るものの、テーマ別研究た。東北地区研究会はあ 否めなかった。社会的情 した後はなかなか足を運 基づいた考え方を持つこ とができるように思う。

で制限せざるを得なかっ 員については、コロナ禍 であった。同時に、同ができたことは良い機会 た自己研鑽の機会として 加を勧めやすくなり、特 僚・後輩にも研究会の参 に奉職年数の浅い新入職 に積極的に参加すること

各種研究会を紹介できた ことは嬉しく思ってい 係性を紐解くことで、今

法人部門と設置学校の関

法人部門と設置学校の関 式典の企画・運営と、学感じている。具体的には 部分についても興味深く り議論が深まっていない 後の学校運営の在り方に

期間において会計上特筆部財務課に所属していた関する会計処理等、財務 てこなすことが精い あった。各種事項に取り 定を行ったことや、前述 感じる機会もあった。本知識が貴重であることを 組む際は日々の業務とし すべき事項が幾度となく 内での暫定補正予算の策感染症対応で2度、年度 分の職務経験や業務上の した新キャンパス建設に 災と新型コロナウイルス 院においては東日本大震 交流の中で、自 多く、 験し、 での開催に戻す研究会が今年度からは再び対面 る。 とても楽しみである。 じる機会が増えることは おいて久しぶりに対面での定期総会・研究集会に は難しくなるが、 ミックな雰囲気を再び感 でこそ醸成されるアカデ の研究会に参加し、対面 うに気軽に参加すること 昨年初めての異動を経 今後の関わり方 現在は役員対応や官 オンライン時のよ 財務の業務を離 昨年度

を担当している。異動前 公庁への手続き等の業務 研鑽を重ねていきたい。 と考えている。JUAM を通じ、これからも多く ついての示唆を得られる

9月2・3日文教大学で

される。テーマは「高等